

第3期行財政改革プログラム 個別取組工程表

取組番号	2-1-3	取組項目名	職員の特性に応じた人材の活用			
所管	総務	局	人事	部	人事	課
〔P〕 取組内容	実施内容	職員の特性を見極め活かすため、自己申告制度や庁内公募、庁内FA制度の活用又は新たな人事制度を検討し、職員のモラルの向上及び組織の活性化を図ります。				
	目標	H30	・自己申告制度や庁内FA制度の実施状況を検証し、より目的に資する制度にする。 ・他市の状況を研究し、新たな人事制度の構築を行う。			
		R1	・自己申告制度や庁内FA制度の実施状況を検証し、より目的に資する制度にする。 ・他市の状況を研究し、新たな人事制度の構築を行う。			
		R2	・自己申告制度や庁内FA制度の実施状況を検証し、より目的に資する制度にする。 ・他市の状況を研究し、新たな人事制度の構築を行う。			
〔D〕 実績・進捗状況	H30	平成31年4月1日付人事異動に際し、自己申告制度及び庁内FA制度を実施し、職員の異動希望や各職員の持つ知識・経験を把握しながら、可能な限り異動に反映させた。				
		H30の達成度	b	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成		
	R1	令和2年4月1日付人事異動に際し、自己申告制度、庁内FA制度及び庁内公募を実施し、職員の異動希望や各職員の持つ知識・経験を把握しながら、可能な限り異動に反映させた。				
		R1の達成度	b	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成		
		H30~R1の達成度	b	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成		
	R2	令和3年4月1日付人事異動に際し、自己申告制度、庁内FA制度及び庁内公募、技術職におけるスペシャリスト人材育成制度を実施し、職員の異動希望や各職員の持つ知識・経験を把握しながら、可能な限り異動に反映させた。				
		R2の達成度	b	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成		
		H30~R2の達成度	b	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成		
	行革効果額の見込み及び実績		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		見込み	- 百万円	- 百万円	- 百万円	
実績		- 百万円	- 百万円	- 百万円		
評価	B	〔基準〕 S:優良 A:良好 B:普通 C:不良				
〔C〕 評価	課題分析	自己申告制度、庁内FA制度を活用しつつ、スペシャリスト人材育成制度など新たな人事制度の構築を行った。引き続き職員のモラルの向上及び組織の活性化を図ることができるよう、従来の制度の検証を行いつつ、新たな人事制度の検討を行う必要がある。				
〔A〕	改善策	従来の制度について実施状況をその都度検証し、より効果的に活用できるようにする。引き続き他市の状況等を研究し、新たな人事制度について検討を行う。				
備考						